

No. 73

2007年(平成19年)

11月1日

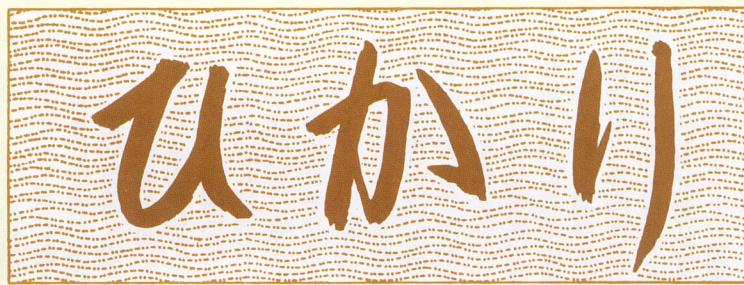
発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

鈴木悟峰



苦のないものは
地獄におちる
苦のあるものが

参る極楽
妙好人 浅原才市翁



日高組「子どものつどい」キッズ・サンガー

『これより西方に、十万億の仏土を過ぎて世界あり、名づけて極楽といふ』

西方淨土という、西にお淨土があると思つていませんか？西方淨土というのだから、お淨土が西にあると思われがちですが、「これより西方に」の「これ」とはこの婆娑のことを指しています。西方とは東・西・南・北・四維・上・下の十方の内の西方です。おシャカ様は祇園精舎でこのお経を説かれています。阿弥陀さまの世界は十方諸仏の国土の中央にあり、私たちの婆娑が東の方にあるのです。ただし、その方角にこだわる必要はありません。宇宙の研究がこれから進むとしますが、宇宙の中心に阿弥陀さまがあるというと、宇宙学者は笑うかもしれません、宇宙の真ん中が地球だと、世界の中心が自分であるという感覚を持つてはいけないので。自分が世界の中心にいるという錯覚を人間はもち易く、阿弥陀さまが宇宙の中心という感覚を持つて物事を考えるようにならなくてはいけません。そして、阿弥陀さまを中心として東・西などにおしゃか様のように阿弥陀さまを説く方がいると言われています。

おしゃか様が勝手なことを言つてているというのではなく、人間の思惑を超えた発想があるので。

阿弥陀さまの世界より私たちの婆娑の方角をみれば東方であります。そしてここに説かれているように、阿弥陀さまの世界の南や西にも諸仏の世界はあるのです。そこではおしゃか様と同じように悟られた仏さまが、三部経をお説きになっています。このように阿弥陀さまの世界は十方諸仏の世界の中央にあるのです。

阿弥陀經に聞く

(永原)

法話

「死んだらどうなるの」

昨年の紅白歌合戦で、「千の風になつて」をほろ酔い気分で聞いたような、聞かなかつたような……。

その後 NHK の番組でこの歌によつて救われた感じがする等の反響が多く寄せられ、特別番組が組されました。その番組の中で、子供さんと死別した婦人が、「その歌を聴いて、心のつかえが取れた。」と喜んでいた様子が放映されました。その後 キリスト教の教会にて、皆で歌つて、る様子も放映されました。ぼんやり見ていたので、歌詞が解らなかつたのですが、なにか気になり、ある日、お逮夜参りの席で高校生のお嬢さんに『千の風になつて』の歌を知りませんかと聞くと、なんと、歌謡番組のベスト 2 にランキンゲされていて、すると聞かされ、唖然としましたが、歌詞を教えてほしいと頼み、書いていただきました。

「私のお墓の前で 泣かないで下さい そこには私はいません 眠つてなんかいません んかいません」

ええ！なに？？？眼を疑いました。もう一度読

ちよつとまつた。この歌は、さつた、浄土真宗の御教えによく似ているではないか。親鸞聖人さまは、もしさつた、浄土真宗の御教えによく似ているではないか。親鸞聖人さまがお示しくだしまれ、弥陀同体の悟りを遺ひらかせて頂くのだとお示し下さいました。お墓の中には賀茂川に捨て魚の餌に死んでなんかいません。浄土真宗テキな詩かと感じたのです。

親鸞聖人がお読みにならされた『淨土和讃』一観音勢至もろともに慈光世界を照曜し
有縁を度してしばらくも休息あることなかりけり』
『安樂淨土にいたるひと五濁惡世にかえりては
釈迦牟尼佛のごとくにて利益衆生はきはもなし』
と、仏になると、しばらくも極樂淨土で休息しない。では何をするの。人間界に還つて来て、この私を必ず救わずにはおかん、と働いてくださる。お墓の中でも眠つてなんか、お淨土で休息なんかしていません。秋には光になつて畑にふりそぞぐ冬にはダイヤのようになります。

朝は鳥になつて
あなたを目覚めさせる
夜は星になつて

光・ダイヤのような雪・
鳥・星になつて私たちを見
守る。本当に還相菩薩となつて、この私を導いて下さる。

浄土真宗の生活信条(1～4条)を4回のシリーズで掲載します。下の1～3の【】内にそれぞれ漢字1文字を入れて、生活信条の1条を完成させて下さい。

淨土真宗の生活信条

法

悦

り

1

2

〔浄土真宗の生活信条〕

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、御感想、御意見等を明記の上、

〒649-1221
日高郡日高町志賀3851
善宗寺内 組長事務所
までお送りください。

- ※抽選で10名の方に粗品を差し上げます。

※発表は次号

72号の正解は、「織田信長」でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

月忌参りなどで門徒さんのお家でお勤めをする時、しばしば寂しい思いをすることがあります。せつかくお参りしているにもかかわらず、家の方はと、別の部屋で何やら用事をしていたり、酷くなれば、平気でテレビを見ていたり、「留守でも参つて下さり」といった調子です。月忌参りや、祥月にお勤めをするのは、いつたい誰のためでしようか。亡き人を偲びつつ、そこに阿弥陀さまの法を聴かせていただくては、救済の目当てである私を抜きにしてはあり得ません。お寺さんが、お参り

家族構成 日高町比井
榎本 千代子(79)

みちのくひ 家旅

まして書かせて頂きます。
私の主人も三年前に亡くな
り子供もなく現在一人暮ら
しで淋しいです。これも運
命と思つてあきらめていま

すが、親類の甥と姪にやさしく助けて頂いています。毎日感謝をして暮らしています。現在私は、高齢者学級や北出アクトさんで気功

をしました。お寺の法要がある時は、必ず近所の人とお参りをしています。阿弥陀さまやご先祖に報恩感謝の生活を送らせて頂いています。

朝は、仏様に手を合わせて主人の写真にも今日一日とろしくお願ひしますとおがみ、寝る前には仏様に今日は有難うございましたと感謝をして休ませて頂いています。残された命をしっかりと頑張って生きて行きます。本当に幸いです。

だきました。大変有意義な一日を過ごさせていただき、とても、生かされて生きていることをより一層強く実感させていただきました。百聞は一見に如かずとは良く言つたもので、その場にたたずむと当時の様子や雰囲気までもが、何かしら味わえるような気分にひたることが出来ました。しかししながら浄土真宗というすばらしい教えを説かれた親鸞聖人が、何故二十年間もの長きにわたり自力聖道門（雜行雜修自力のこころ）の教えに励まれたのかとい

門徒心得

「お仏壇は誰のため？」

縁を結んでいたいただくためであります。故人のために、お経を上げているのではありません。

さんが読むお経を一緒に座つて聴かせて戴くか、お勤めに加わっていただきたいものであります。しかし、お経は難しいと言う声も聞きます。確かに読みにくく、理解するのは容易ではありません。

時間をかけて、ゆっくりと努力するしかありません。

繰り返しお勤めしていきますと、自然に経文が読めるようになります。

何よりも、阿弥陀さまに手を合わせ称名念仏することが大切です。

日高組総代会・仏教壯年会研修聞法の旅 （親鸞聖人のご旧跡を参拝して）

雄三津環用代綱吉國宝

聖誕院（天台宗） 丸がお生まれに誕生院に参拝、次に九歳のとき得度（範宴）された東山の青蓮院（天台宗）へ、又吉水の草庵に始まる法然聖人の御廟である知恩院（淨土宗）へ、最後に親鸞聖人（綽空）が二年間ご苦労された比叡山（天台宗）に参拝させていた

先般、内芝宗今
議員はじめ三十五
名の会員お同行玄

様に手を合わせて
写真にも今日一日と
お願いしますとおが
る前には仏様に今日
うございましたと
して休ませて頂いて
。残された命をして
張つて生きて行きま
当に幸いです。



日高組寺院めぐり

宝国寺（由良町神谷）

第十八代住職 林 英雄

沿革

当宝国寺第六代淨香の書き記した「開基系図書」

（実在）によると、神谷浦の勘一郎（淨円）が飛驒の平太郎の法話を聞いて、真宗に帰

依し、永正九年（一五二二）六月、本願寺第九代実如上人より方便法身の尊像を下付され「神谷惣道場」を建立したのが始まりである。

その後、延宝年間（一六八〇）に火難にあい、本堂はじめ、すべて焼失し、再興困難の状態であった。しかし、六代後の淨玄が本願寺へ再度出願し、貞享二年（一六八五）三月三日に本願寺第十四代寂如上人より木仏本尊阿弥陀如来を下付（軸一、実在され、白雲山宝国寺の寺号公称の許可を受けた。そして、翌年の貞享三年（一六八六）に本堂を再建している。（参考資料は日高郡誌、開基系図書。）

に鋳造したが、第二次大戦に供出し、昭和三十九年四月に再鋳する。



年間行事

- 一月一日元旦会
- 春・秋彼岸会
- 八月盂蘭盆会
- 十一月報恩講

（行事の準備等は総代、仏教婦人会の方々でやつてくれます）

『神谷の現況』

以前は山と海に囲まれ、漁業も盛んで自然豊かな神谷浦であった。二十年ほど前に会社の進出により本堂を再建する。

鐘楼は明治二十八年（一八九五）に第十六代淨慧により再建。梵鐘は天保十二年（一八四二）

やいた。しかし活気あふれる神谷になればと思つたのも束の間、景気の低

迷、そして不漁づきと、最近は漁師を継ぐ者もななく、漁師の数も激減、昔

を懐かしむ者もすくなくなつた。

真宗



一最近、ペットのお葬式を行つてくれるお寺がありましたが、動物も極楽浄土へ行けるのですか。

大谷 ペットのお葬式をどうしたらいのかとまどう住職が多いですが、頼めばしてもらえる場合が多いと思います。動物が死後ただちに極楽浄土へ行けるかどうか、仏でない私たち人間にはわかりませんが、生きとし生けるものを照ら

かにお浄土へ生まれるかどうか、私のいのちのゆくえを教えていくことです。大谷光貞ご門主ご著作「世のなか安穏なれ」より

☆行事予定

開催日：十二月十六日午後
一時三十分（

場所：由良町大引

ご講師：豊島学由 師
講題：「宗教現象と宗教の本質」

どなたでも参加できますので、お誘い合わせてご参加下さい。

編集後記

表紙の写真は、淨明寺で開催した日高組「子どもたちのつどい」の風景です。

子ども達は、ゲームに夢中です。楽しい一時でした。

子ども達の素直な笑顔にくらべ、私たち大人の笑顔はどうでしょう。利害関係はどのように参り、自分の所属する寺院の法要にお参りすることにとどまらず、お隣の寺院での法要にもお参りし、ご聴聞を重ねさせていただきましょ

う。當時古老は「沖の見えないのが漁師にとつて何よりもさびしい」と、つぶやいていました。漁師にとつて何よりもさびしい

・総代会・壮年会研修旅行

七月二十二日、総代・壮年会員三十六名が親鸞聖人の日野誕生院など、ご旧跡を尋ねる旅でした

・壮年会主催の公開法座

一夏のご法座一

八月二十五日、蓮専寺に於いて、講師に長井千穂